

Blossom -lite-

NO.7

1, 教祖のひながたを学ぼう

2, step by step

3, ちょっとぎゃらりい。

asahijoshiseinen



教祖のひながたを学ぼう

『おやさまの情景』 紹介

麻と絹と木綿の話 p.13

今回は『麻と絹と木綿の話』という話を紹介させていただきます。この話は、麻と絹と木綿の用途に例えて、親神様が望んでおられる通り方を分かり易くお諭し下されている話です。

簡単に紹介すると、麻は風通しが良くて涼しいので、夏には適していますが、冬には寒くて着れない布地です。絹は、上品で高価ではあるけど、古くなったら使えなくなる布地です。それに比べて木綿は、季節を問わずに着れて、古くなっても雑巾やおしめ等、使い道が広い布地です。神様はこの木綿のような心の人をお望みになられているとお諭しくだされています。

この『木綿のような心』と出てきますが、どういう心なのか私なりに考えてみたところ、人から頼み事をされやすい、いわゆる使いやすい人なのではないかと思いました。例えば「ちょっとそれ取ってー」と言われたら、「はい！分かりました！」と人を優先して動いたり、他人が使い易いように前準備をしておいたりすることなのかなと思いました。頼み事をされても「えー、今？」と言ったり、他人のことまで考えたりする余裕がまだまだ出来ない私ですが、この話を思い出しながら、人に使われやすい、そして神様に使われやすい人になれるよう通らせて頂きたいと思います。

Step by step

asahijoshiseinen

おやがみてんりおうのみこと
親神 天理 王命

親神様

親神様のお名前は「天理王命」様と申し上げます。

親神様は、人間が仲良くたすけ合って喜びいっぱい暮らし「陽気ぐらし」をする姿を見て共に楽しみたいと思われて、この世界と人間をお創り下さいました。

まったく何もないところから、人間をはじめとする全てのものを創られ、生命を与えられた元の神様であり、現在も、またこれから先も絶え間なくお働き下さり、お守り下さる実の神様です。人間が元気に暮らせるように、呼吸をしたり、ものを見たり食べたりといった様々な身体の働きや、太陽が照り雨が降り、動物植物が育つといった自然の営みをお恵み下さっています。

親が我が子を慈しみ育てるように、全ての人間のために心を砕き、お働き下さっているのです。ですから、私たちは親しみを込めて、親神様と呼ばせて頂きます。

そして、天理王命とお名前を唱えて、お礼を申し上げ、お祈りします。

おぢば

「ぢば」は、親神様が人間をお創り下さった場所で、親神天理王命がお鎮まり下さるところです。そしてその「ぢば」に、人間創造の証拠として「かんろだい」が据えられ、礼拝の目標となっています。

おぢばは世界にたった一つの人類の故郷です。ですから、各地からおぢばに参拝することを、「おぢばに帰る」「おぢばがえり」といいます。そこには、親神様・教祖がおられ、親の膝元に帰るという喜びと親しみが込められています。そして「おかえりなさい」と迎えられるのです。

ちょこっとぎゃらりい。



カメラマン：sekisanphoto

みなさんこんにちは🌸 ちょこっとぎゃらりい。のお時間です。

毎朝布団から出たくない季節がやってきましたね🍃

今月のおちばでは、銀杏が見頃を迎えていました。天理市、親里大路のイチョウ並木は全国からカメラマンが訪れるほど有名ですよ^^

春の桜ボール、秋のイチョウ並木と言ったところでしょうか。

親里大路にあるスロープからは銀杏と同じ目線に立って撮影できるスポットがありますが、上の写真はそこから少し離れた、神殿と銀杏を一緒に撮影できるスポットから撮りました。

秋の風を受けながらおちばと銀杏を一緒に眺めることのできる場所になっています。

来月も季節のおちばをちょこっと楽しんでいただけるように、カメラマン、撮影頑張ります！

それでは、また来月お会いしましょう。

see you next time...